

令和7年度 運営に関する計画



令和7年4月
大阪市立梅香小学校

大阪市立梅香小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本校は、阪神なんば線と JR 環状線、北港通りと国道43号線に囲まれた住宅地を校区とした全校児童205名の比較的小規模な学校である。
保護者や地域は学校教育に比較的協力的で、児童の登校時には PTA や地域の見守り隊の方々が横断歩道やバス停等に立ち、児童の安全確保に尽力いただいている。また PTA やはぐくみネットの活動も「子どもたちのために」という思いを大切にされており、日々の教育活動に自然な形で協力をいただいている。
児童は素直で、学校での活動に真面目に取り組んでいる。どの学年も1～2学級編成であることもあり、児童も学年の違いを気にすることなくアットホームな関係にある。また、令和6年度末の学校アンケート(児童用)では、「学校のきまりを守っているか」の設問に対する肯定的な回答をした児童の割合は85%であった。
- 学習面では、令和6年度の全国学力・学習状況調査において、国語科・算数科ともに大阪市平均を下回る結果になった。また、大阪市学力経年調査では、いずれの教科においても、大阪市平均に届かなかった。また、令和6年度末学校アンケート(児童用)で「宿題以外で、自分で学習している」の問いに肯定的な回答をした児童の割合は62%にとどまっており、意欲的な学習習慣を育成し、学力を向上させることが本校にとって喫緊の課題である。
- 体力面では、本校は校庭が比較的広く一部は芝生化されている。また、遊具も多く、外遊びをしている児童の割合は高い。毎週の全校朝会時には全校でラジオ体操を行い、継続的な運動習慣を確保したり、縄跳び週間やかけあし週間などを実施したりしている。令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、体力合計点が男女とも全国平均、大阪市平均を大幅に上回っており、項目別でも全て、全国平均や大阪市平均を上回っている。現状の数値を維持・向上していくためにも、今後も体育の学習はもとより体育的活動も大切にに取り組んでいきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和4年度から7年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。
- 令和4年度から7年度の年度末の校内調査において、2つの項目で最も肯定的な「思う」や「守っている」などの回答をする児童の割合を毎年下記のようにする。
「いじめはどんなことがあっても許されないと思う」・・・90%以上
「学校のきまりは守っている」・・・60%以上
- 令和4年度から7年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和４年度から７年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和４年度から７年度の小学校学力経年調査における平均正答率が、市平均の７割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント減少させる。
- 令和４年度から７年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、合計得点が男女ともどの種目も前年度より１ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和７年度末において、学習者用端末を活用した活動がどの学年でも毎日３時間以上行っているようにする。
- 令和７年度末において、学習者用端末を活用した家庭学習がどの学年でも週１回以上実施しているようにする。
- 令和７年度末において、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する標準Ⅰを満たす教員の割合を７５％以上にする。

２ 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を８５％以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を８０％以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を４１％以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を７２％以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の８割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の５０％以上にする。
- 第２期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を６９％以上にする。

大阪市立梅香小学校 令和7年度運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめについて考える日」をはじめ学校教育活動のあらゆる機会をとらえ、互いに理解し認め合うことを大切に、いじめを絶対に許さない児童を育てる。</p>	
<p>指標</p> <p>・学期に1回、「いじめに関するアンケート」を行い、アンケート結果を共有し、全教職員で課題解消に取り組む。</p> <p>・毎月1回、「いじめ対策委員会」を実施し、情報共有と対策の協議を行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>家庭や関係諸機関と連携を取りながら、個々の必要に応じた手立てや支援を行う。また、職員間で登校しにくい児童についての共通理解を図る。その際、「不登校対策委員会」も活用していく。</p>	
<p>指標</p> <p>・「不登校対策委員会」を毎月実施し、情報共有を行う。</p> <p>・関係機関との連携を図り、支援につなげるため、学期に1回スクリーニング会議Ⅱを開催する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>ゲストティーチャーの授業や校外学習等の豊かな体験活動により、一人ひとりの違いを認め合える集団作りに努める。</p>	
<p>指標</p> <p>・全ての学級で、「いいところ見つけ」等、自分や友達のよさを認め合う取り組みを行う。</p> <p>・全ての学級で、ゲストティーチャーによる授業や校外学習等の豊かな体験活動を実施する。</p>	

大阪市立梅香小学校 令和7年度運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を41%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中で話し合い活動(ペア、グループ、全体)の場を設定することにより、自分の考えを深めたり広げたりすることができる力を養う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>全ての学級で、一日一回以上、学習の中で話し合い活動を実施する。</p> <hr/> <p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>どの教科においても「めあて」を明確にし、ふりかえり活動を充実させた授業実践を行う。また、朝学習の時間等を活用した反復練習を継続して行ったり、家庭学習の重要性について保護者へ啓発したりすることで、基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけることができるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・低・中・高学年で国語科の公開授業を行い、その内容について全教員で討議をする。また、全教員が公開授業を実施する。</p> <p>・毎週3日、朝学習の時間を設定し、基礎的・基本的な学習の反復練習を行う。</p> <hr/> <p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>児童が運動の楽しさを味わい、体力・運動能力を向上させるために体育科の授業を工夫するとともに、児童が自発的に体を動かすことができるような体育的行事を実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>児童が自発的に体を動かすことにつながるような体育的行事を年間2回以上実施する。</p>	

大阪市立梅香小学校 令和7年度運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く) ○ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を69%以上にする。 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>学習者用端末を効果的に活用した授業の工夫を行うとともに、端末を持ち帰ることで、家庭学習でも学習者用端末を活用できるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT活用にかかわる研修会を年間1回以上実施する。 ・ navima 等、学習者用端末を活用した家庭学習を3年生以上のすべての学年で実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</p> <p>「ゆとりの日」や学校閉庁日の設定、会議の精選等を実施し、効率よく業務を遂行できるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式、終業式の日や研究授業の日等、年間10回以上6時間目の授業をカットする日を設定する。 ・ 長期休業期間前後の始業・終業日を弾力的に設定し、年間で合計5日を休業日とする。 	